

第67回JIA アーバントリップ 「建築家シリーズvol.5」

建築家 高橋兢一氏 60年の軌跡「人・建築・都市」

実施日 2011年11月29日（火）

会の主旨と結果報告

建築家として60年以上第一線で活躍され、87歳になられた現在も洗練された建築作品を精力的に作り続けておられます。氏の代表作3作品を見学しながら、ご本人に直接解説して頂き、作品に纏わる雑誌では知ることができない、大変興味深いお話をうかがうことができました。
第二部では講演会を行い、スライドを使い今年の七月に完成したばかりの最新作、白河図書館の解説はもとより、60年以上にわたり磨かれた氏の建築思想及び建築を大いに語って頂きました。雑談時は優しい瞳で話をされますが、ひとたび建築の話題に転じた瞬間の鋭い眼光は印象に残りました。

■ 第一部

高橋兢一氏解説による作品見学

作品① 首都大学東京 図書館・国際交流館
竣工1991

所在地 東京都八王子市

主要用途 大学

構造設計 構造計画研究所

設備設計 日本エアコンセンター

作品② 全労済情報センター
竣工1995

所在地 東京都八王子市

主要用途 事務所・ギャラリー

構造設計 構造計画研究所

設備設計 ピーエーシー

ランドスケープ 日本リサーチ・コアデザイン

作品③ 清水建設技術研究所安全安震館
竣工2006

所在地 東京都江東区

主要用途 事務所

設計 高橋一／SFS・21+清水建設

構造設計 清水建設

設備設計 清水建設

■ 第二部

高橋兢一氏による講演会

「そこに働く、住む人々が好きになれるような建築」

首都大学東京

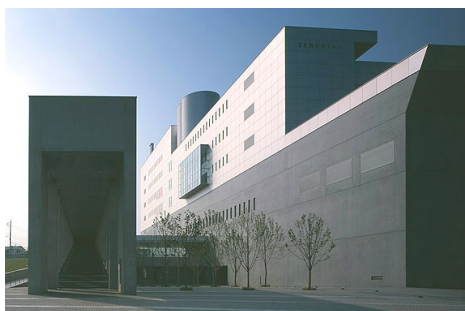


図書館

国際交流館

図書館見学風景

全労済情報センター



ファサード



中庭



見学風景

安全安震館



ファサード



高橋氏講演会